

代表的なアルツハイマー型認知症の進行の例 (右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態)

	発症	認知症の疑い	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば自立	日常生活に支援や介護が必要	常に介護が必要
	正常なレベル	軽度認知障害(MCI)		認知症		
		初期	中期	後期		
本人の様子	<input type="checkbox"/> 健康づくりや介護予防に取り組む <input type="checkbox"/> 地域行事に参加したり、ボランティアを行うなど、社会参加を大事にする	もの忘れが目立ちはじめます。何かを計画し、順序立ててやり遂げることが難しくなってきます。 <input type="checkbox"/> 買い物や事務、金銭管理などそれまでできていたことにミスが見られる <input type="checkbox"/> やる気が出ない。物事への関心が薄れる <input type="checkbox"/> 外出の機会が減り、閉じこもりがちになる <input type="checkbox"/> 同じことを繰り返しかえし聞く <input type="checkbox"/> ものや人の名前が出てこず「あれ」「それ」が増える <input type="checkbox"/> 「物を盗まれた」などのトラブルが増える	いつ、どこで、何をしたのかの出来事を忘れるようになります。日付や季節、年次の時間感覚が分かりにくくなり、自分がいる場所についても見当をつけることが難しくなってきます。 <input type="checkbox"/> 時刻、場所、季節が分からない <input type="checkbox"/> 近所(慣れた場所)でも道に迷う <input type="checkbox"/> 不安が強くなる <input type="checkbox"/> 妄想が多くなる <input type="checkbox"/> 着替えや食事、トイレが上手くできなくなる	直近の事だけでなく、古い記憶も曖昧になってきます。人物についても見当をつけることが難しくなります。病気によっては寝たきりになるなど常に介護が必要な状態です。 <input type="checkbox"/> 歩行や食事など日常動作に介護が必要になる <input type="checkbox"/> 会話がうまくできなくなる <input type="checkbox"/> 表情が乏しくなる <input type="checkbox"/> 尿や便の失禁が増える <input type="checkbox"/> 日中も眠っている時間が長くなる		
家族のこころ構え	<input type="checkbox"/> 地域行事やボランティアなど社会参加するように働きかける <input type="checkbox"/> 家庭内の役割を持ってもらい、継続できるようにする <input type="checkbox"/> 趣味活動を継続できるように支援する <input type="checkbox"/> 運動をするように働きかける <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座を受講し、認知症について理解を深める <input type="checkbox"/> 認知症カフェに参加し、認知症の方や介護について理解を深める	はじめの頃は、気持ちの変化やもの忘れが見られることで気づくことが多いです。いつもと違う様子や困ったことがあれば、まず相談しましょう。本人がもの忘れを自覚し、不安に思っていることもあります。 <input type="checkbox"/> 接し方の基本やコツを理解する <input type="checkbox"/> 家族間で介護の事を話し合っておく <input type="checkbox"/> 介護で困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談する <input type="checkbox"/> 介護者の会や集いに参加し、先輩介護者の意見を参考にする	火の始末や道に迷うなど、思いがけない事故に備えて安全対策を考えます。本人の行動の変化に戸惑いや不安を感じるが増えてきます。介護のつらさやしんどさを抱え込まず、身近な人や支援者にも理解してもらいましょう。介護の負担が増えるので医療や介護サービスを上手に使いましょう。 <input type="checkbox"/> 介護者自身が健康管理を行う <input type="checkbox"/> 介護サービスを上手に使う <input type="checkbox"/> 肺炎など他の合併症の症状や予防策について学ぶ	医療や介護の専門家と看取りに備えた相談をしておきましょう。言葉以外のコミュニケーション(スキンシップや表情・しぐさから気持ちを汲み取るなど)を心がけましょう。 <input type="checkbox"/> どのような終末期を迎えるか、家族間でよく話し合っておく		
本人ができること 誰かと一緒なら できること (考えて記入してみましょう)						

…地域住民や各種団体の提供するサービス …市のサービス …介護保険のサービス

認知症の 進行に応じて 利用できる 支援の例	介護予防	住民主体の健康活動等 いきいき百歳体操 生きがいデイサービス事業	い	いき	百	歳	体	操
	もしもの時	緊急通報システム事業	通所介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護			
	身体介護		通所介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護			
	医療	認知症相談医(かかりつけ医) 認知症サポート医 認知症疾患医療センター	訪問看護	薬剤師訪問				
	暮らしを支える	高齢者日常生活用具の給付・貸与	訪問介護	随時対応型訪問介護看護				在宅要介護高齢者等紙おむつ費用助成事業
	住まい	サービス付き高齢者向け住宅 有料老人ホーム	特定施設	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)				介護老人保健施設 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
	つながり・みまもり	認知症カフェ 老人クラブ 住民主体のサロン 老人福祉センター	通所介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護			
	相談	認知症サポーター	訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護				
		栗東市介護者の会 認知症の人と家族の会 居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)						
		地域包括支援センター	栗東市地域包括支援センター(市役所1階) TEL.551-0285		栗東市葉山地域包括支援センター(淡海荘1階) TEL.552-5280			